

3年ぶり！

伊賀有機収穫感謝祭に 参加しました！

やさいBOX生産者のグループ、伊賀有機農産供給センター。
「美しい大地と空を子どもたちに」というメッセージとイラストは、やさいBOXでおなじみですね。
伊賀有機収穫感謝祭は、生産者と私たち組合員が1年の収穫をともに祝うお祭りで、12月3日に産地で開催されました。大阪からは大人36名、子ども30名の合計66名が参加しました。コロナ禍で中止、自粛を経て、生活クラブ生協大阪では3年ぶりの参加となりました。



子どもたちに大人気の遊具はすべて手作りで、トラクターに乗って草をすき込む体験は、中学生の息子も楽しそうでした。農家のみなさんから教わりながら収穫体験もできました。収穫したビーツはちんまりしていて葉っぱもほとんどなく、聞けば、鹿に食べられて生長が止まってしまったとか。やさいBOXに入っている野菜はきれいなものが多いですが、畑では、当然ながらこういった状態のものがあることを目にしました。どの程度のものであれば受け入れられるのかと、畑での葛藤が伝わりました。

プログラムのひとつ、鶏の解体は、2人の生産者が担当してくれました。肉を部位ごとに分けながら、「食べる物を自分で得る方法を知っていたら、安心できると思いませんか」と話していました。また、今回はじめて解体をしたという生産者は、「いのちをいただくという緊張感、それが見ている人に伝わればいいなと思いながらやりました」と話してくれました。育ててくれる人、肉にしてくれる人がいるから食べられる。食べなければ生きられないのだから、それは忘れてはいけないこと。それと土と太陽、菌などにも感謝。やっぱり画面越しでは感じられないな...と思いました。



▶▶参加者のアンケートより▶▶

あたたかくむかえてくださりありがとうございました。実際に土に触れてみて外で食事をすると虫に対するハードルが下がりました。ついていても仕方ないよねと思えました。

おおきなブランコは子どもも楽しそうに何度もジャンプしていましたが、私も子供に戻った気持ちになりジャンプをして遊ばせてもらいました。他にもターザンロープがあったり、ワラプールがあったり、トトロの家を修理がされており子どもたちが楽しそうに自然の中で遊んでいる姿は人間の原点ではないかと考えさせられました。

ニワトリの解体も初めて見ましたし手作りでハイスペックの遊具、おいしい食事など1つに絞り難いですが、ニワトリの解体は見られる機会などなかなかないですし命をいただいている実感がありすぎて普段の食事のありがたさが身に沁みました。

消費材のことを
もっと知っちゃおう

消費材委員大募集!!
興味のある方はご連絡下さい。
072-641-5547
(組織運営課まで)



牛乳を飲んで応援！持続可能な生産の力に！！

持続可能な牛乳・乳製品の共同購入をめざして生活クラブは4月から牛乳応援基金をスタートします。基金は飼料価格・生産費の高騰・高止まりにより経営的困難に直面している酪農家へ、提携生産者の新生酪農（株）を通して定期的に寄付します。みんなで牛乳を飲んで応援していきましょう！

